

RION社製騒音計・振動計延長ケーブルチェッカー

つなげてくん



『つなげて。。。ひねって。。。わお！』

つかいかた

騒音計延長ケーブル

騒音計側コネクタをチェッカーAに、マイク側コネクタをチェッカーBに、黄色い点にスリットを合わせてまっすぐに差し込みます。



チェッカーBの切り替えスイッチを「騒音計」に合わせ、トグルスイッチをA～Fと回します。チェッカーAのLEDがA～Fと一つずつ点灯すればOKです。

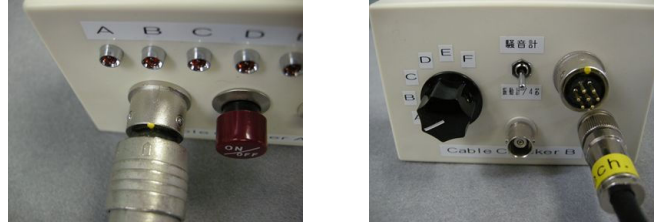


同時に2箇所以上が点灯する、または点灯しない箇所がある場合は、短絡・断線が考えられますので、測定には使用しないで下さい。

7ピンが全て接続されているケーブル（6芯シールドなど）の使用方法も同様です。

振動計延長ケーブル

振動計側コネクタをチェッカーAに、黄色い点にスリットを合わせまっすぐに差し込みます。ピックアップ側コネクタをチェッカーBに接続します。



チェッカーBの切り替えスイッチを「振動計・4芯」に合わせ、チェッカーAのプッシュスイッチをONにし、トグルスイッチをA～Dと回します。チェッカーAのLEDがA～Dと一ずつ点灯すればOKです。E, FはON/Dとして常に点灯します。



同時に2箇所以上が点灯する、または点灯しない箇所がある場合は、短絡・断線が考えられますので、測定には使用しないで下さい。

4芯シールド接続ケーブル

タジミアピンコネクタのオス側をチェッカーAに、メス側コネクタをチェッカーBに、ピンの向きに気をつけ、まっすぐ差し込みます。チェッカーBの切り替えスイッチを「振動計・4芯」に合わせ、チェッカーAのプッシュスイッチをONにします。トグルスイッチをA～Dと回します。チェッカーAのLEDがA～Dと一ずつ点灯すればOKです。EはON/Dとして常に点灯します。

同時に2箇所以上が点灯する、または点灯しない箇所がある場合は、短絡・断線が考えられますので、測定には使用しないで下さい。



BNCケーブル

まずBNCコネクタをチェッカーAに接続します。その段階でチェッカーAのBNCランプ（緑色LED）が点灯しなければ短絡はありません。つぎにもう一方のBNCコネクタをチェッカーBに接続します。BNCランプが点灯すれば断線のチェックもOKです。一方がバナナやワニ口の場合は先端を短絡させて点灯を確認してください。

電池交換

本製品は単4電池2本を使用します。チェッカーAの裏蓋を外すとマジックテープで電池ボックスが固定されていますので、外して電池を交換してください。



本製品は、RION社製の騒音計・振動計延長ケーブル、多治見無線電機株式会社製の丸型7ピンコネクタ(オス・メス)ケーブル、およびBNCケーブルのチェッカーです。

本製品の使用における、コネクタの破損、測定のトラブルなどは弊社では一切責任を負えませんので、ご了承ください。

株式会社 応用技術試験所

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 6-49-18 星和日暮里ハイツ

TEL 03-3802-7077 FAX 03-3802-7078